

平成 30 年 12 月 14 日

各 位

会社名 東京貴宝株式会社
代表者 代表取締役社長 政木 喜仁
(コード番号 7597)
問合せ先 執行役員管理部長 染 未良生
(TEL 03-3834-6261)

平成31年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異

平成30年5月15日に公表した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の第2四半期業績予想値と本日公表の実績値との差異についてお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,644	37	71	59	133.86
実績値(B)	2,442	△2	27	15	36.18
増減額(B-A)	△201	△39	△44	△43	
増減率(%)	△7.6	△105.8	△62.2	△73.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	2,619	28	52	37	83.74

※ 当社は、平成29年10月1日付で、普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前期の1株当たり四半期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

2. 修正の理由

平成31年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、増益の業績予想値を発表しておりましたが、宝飾品に対する消費マインドの冷え込みや値引き販売の自粛等から、売上高は低調に推移し、当初の予想を下回る事となりました。また、催事関連費用等が増加したこともあり、販売費及び一般管理費が予想以上に増加し、営業利益、経常利益、四半期純利益の各段階で平成30年5月15日に公表した予想を大きく下回る事となりました。

また、第2四半期累計期間に影響をおよぼす第1四半期報告書の訂正額は、売上高18百万円の減少、営業利益3百万円の減少となっております。

なお、通期の業績予想につきましては、平成30年11月1日付「第三者委員会設置に関するお知らせ」において開示致しましたとおり、前代表取締役社長の競業禁止義務違反の調査行い、本日、報告書を受領いたしました。その調査費及び過年度決算訂正に係る費用等を特別損失として当第3四半期に計上する予定ですが、現在精査中であり確定した時点で、速やかに通期の業績予想を発表いたします。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上